

第3回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議 次第

日 時：令和2年2月18日（火）
午後2時～

場 所：教育プラザ研修棟 3階大会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 令和元年度事業評価結果について

(2) その他

4 その他

5 閉 会

令和元年度 公民館のつどい事業評価

(事業評価:必須事業)

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	参加者数	社会教育委員による事業評価					評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容			
						目的に対して、活動内容は適切であるか		目的に対して、講師の選定は適切であるか		活動時間は適切であるか			全体の雰囲気、参加者の様子や 取り組み姿勢など	全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
						評価	コメント	評価	コメント	評価			コメント	評価	コメント
公民館のつどい	上越地区の公民館関係者が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践成果を持ち寄り、交流を深める機会を通じて、今後の社会教育・公民館活動を推進する。	9月28日(土) 9:30~15:30	ユートピアくびき 希望館	講演会・事例発表 意見交換会	139	◎	・内容的にも適切であった。	◎	・適切であった。午後からは人が代わっての発表であり変化があった。	○	・皆さん落ち着いていた。	○	・皆さん落ち着いていた。	・皆さんそれぞれに地域で頑張っている姿に共感を覚えた。	・研修内容、時間配分 → 一県の発表、講演会、事例発表、意見交換の研修内容の見直し、時間配分 ・情報交換会 → 情報交換会の時間確保 ・公民館PRコーナー → 周知方法、開催時間 【今年度】 ・参加者同士が交流できるように、事例発表後に意見交換の時間を確保した。 ・開催時期を検討し、土曜日とした結果、参加者が増加し、多くの関係者から参加をいただいた。 ・公民館PRコーナーは、各地区公民館活動がより分かりやすく伝わるように、5本の事業の柱ごとにブースを作り、PRした。 【来年度】 ・3市の参加者同士が、もっと交流を深めることができる機会や最後まで参加者からいてもらうために、研修内容や時間配分を検討する。 ・公民館PRコーナーについて、よりよいものにしていくため、周知方法や開催時間を検討する。
						◎	・公民館がどうあるべきなのか？講演会や上越地区の発表、その講評また、意見交換もあり適切な活動内容だった。	○	・用事があるのだろうか、途中で帰る方もいた。 ・有意義な1日だった。	○	・広い会場でも移動等も分かりやすかった。 ・地域のお弁当も良かった。	◎	・それぞれの立場で参加し、グループごとの意見交換では途切れることなく活発な意見が聞かれた。	・いろいろな工夫をされており、活動している事を理解することができた。 ・地域の関係が薄くなっていると思われる。参加したいが、一人ではなかなか入っていかない現状がある。 ・民間、公務員等いろいろな経験者がいて運営していく面で様々な意見を聞くことができた。	
						○	・越村講師の話は、受講者には周知のことも具体的な事例や活動の方向付けを示されたのは参考になる。	◎	・項目内容から適切と思う。 ・事例発表は短い気がしたが目的効果、展望に整理できれば真意は伝わると思う。	◎	・落ち着いた雰囲気、気持ちよく参加できた。	○	・空き時間に意見交換するなど、気持ちと実績の前向きさを感じた。	・公民館事業の「元気の出るふるさと講座」について考えた。 ・企画の検討段階で地域の代表である運営審議委員会が行った検討と想いが、講座にどう生かされているのか検証をしたら「活動の評価」になると思う。 ・評価シートの「目標に対して、活動内容は適切であるか。」の問いに、企画の先を見越した検討議論の経緯も知りたくなった。	
						○	・県内の公民館の説明は数値的なことが多いのもっと簡潔でもよい。 ・越村先生のお話は上越の内容もよく考えられており、とても分かりやすかった。 ・提案的な講演はすばらしい。 ・「交流を深める」という目標にはちょっと遠かったかもしれない。	◎	・午前、午後と適切な流れで良かった。	○	・取組紹介はそれぞれの公民館の内容がよく分かり良かった。 ・欲をいえばもっと堂々と胸をはって(自信をもって)PRしてほしいなあという方もいた。	○	・午前から午後と長い講座であったが皆、真剣に聞いていた。	・活動紹介のパネルは5本の柱ごとにまとめられており、とても見やすく良かった。お昼休みしか見ることが出来なかったので、開会前に来てゆっくり見れば良かった。案内にもパネル展示があることと開会前30分位は見られますというような案内があればよいのでは。 ・毎回思うがチラシはとて興味深い資料。ぜひ参考にするものも多いし、どんな事業をやっているか一覧表を見るより分かりやすい大事な資料だと思う。糸魚川の取組発表には紙ベースのみならずSNSにもという話があったが、紙ベースをしっかりと作って、さらにSNSに載せられればより強い。紙ベースのよさも残してほしい。	
						◎	・公民館関係者が一堂に会し、交流を深めながら更なる公民館活動の発展を期す貴重な機会だと思う。 ・広域合併後の上越市だからこそ必要だと思う。他の2市からの参加もよい。	◎	・適当であった。	◎	・みんなて学ぼうとする雰囲気があり、発表者に対し感謝していた。大事なことだと思う。	○	・SNS活用への対応について、現場への不満的な言動があった。気持ちは分かるが予め自分の所属等を名乗っている手前、言い方への配慮が必要だと感じた。いろいろな事情を踏まえながらも、自ら克服していく力量が求められると思う。	・公民館のつどいの趣旨が表れている充実した内容だった。 ・公民館関係者が一堂に会して学びあうことはとても大切なことだと思う。 ・公民館活動は地域性が強いが、だからこそいろいろな地域の関係者が集まることに意義があると思う。 ・講演会は地域活動と公民館について、今後の社会教育の方向性をも示唆したタイムリーな内容であった。 ・公民館設立当初のねらいは、民主主義の精神の涵養という崇高な役割を担っていたが、現代はどうか考えさせられた。 ・地域課題解決学習を推進していく上で、地域協議会や諸団体との関わりや、行政部局間相互の連携等が改めて問われているようである。	
○	・交流を深める時間がもう少しあってもよいと感じた。	◎	・3市が集合する時間としてはこのくらいの時間でよいと思う。	◎	・参加者が例年よりも多く(土曜開催のためか?)多数の方々と挨拶を交わされる様子が見えて良かった。	○	・講師や発表に対する質問が少なく、何か中途半端な感があり残念に思った。 ・意見交換会では、参加したグループは人数が少なめで(他のグループの様子は分からないが)この参加人数(144名)の方はいったいどこへ行ったのだろうかと思慮な思いをした。でもその中で意見交換は充実して上越市の「ふるさと講座」を知っていただけの場となった。 ・お弁当が大変良かった。 ・3市の交流を深める時間をもっとあったらいいなあと思った。(例えば昼食後の時間をもっともつ等)								

令和元年度 公民館のつどい事業評価

(事業評価:必須事業)

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	参加 者数	社会教育委員による事業評価										評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容
						目的に対して、活動内容は 適切であるか		目的に対して、講師の選定は 適切であるか		活動時間は適切であるか		全体の雰囲気、参加者の様子や 取り組み姿勢など		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)			
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	コメント			
					139	◎	・地域づくりと公民館、現状から今後のあり方について実状を踏まえた指摘と方向性の講義は良かった。	◎	・千葉県の実態を含め広域的な視点の内容が適切であった。 ・現状を判りやすくかつ素直な語り口の人柄が良い。	○	・概ね良いと思う。	○	・行政サイドの意識と地域公民館の参加者の間に若干のつれを感じた。	◎	・地域づくりをどう進めるか。子どもの数が減り高齢者が増加する高齢社会、限界集落が加速する上越エリアの現状を踏まえ、従来取り組んだ地域づくりに公民館活動がどう向き合うのか改めて問われる。 ・越村先生の「公民館の原点」帰郷として地域を大切にすると人とのつながりを創り出す活動が大事だということが実感できた。 ・分科会形式の意見交換の場で具体例を中心に真剣な討議があり、参会者の参考になったと思う。(例:公民館報やPR方策、経費の支出やITの利用方法など)		
						◎	・講演会、事例発表は事業実施趣旨にかなう適切な内容だった。	◎	・内容が十分に伝わり、理解するのに必要な時間が確保されていた。	○	・午後の参加者が少なかったように感じた。それぞれ務めがあるだろうが午前と比較すると残念だった。	○	・事例発表、意見交換では分科会参加者みな前向きで考えを述べたり発表を聞いたりしていた。	◎	・越村講師の講演は改めて「地域づくり」について意識を高めることができた。 ・政策や社会教育、公民館の今までの推移について分かりやすく聞くことができた。 ・7つの提案をされたが、具体的な事例をおりまぜながらの話なのに社会教育用語で内容が難しく感じられた。 ・田沢地区公民館の発表は徐々に刺激を与えてくれた。 ・勉強になった。		
						○	・良かった。	○	・事例発表は時間内コンパクト、明瞭にまとめられており理解ができた。	○	・穏やかな雰囲気良かった。	○	・参加者は一生懸命な姿勢だった。	◎	・越村先生の講演はとても良かった。プレゼンが上手。また、各事例も分かりやすい発表だった。 ・写真が多用されていて見やすかった。 ・各公民館の立地場所が提示されるとさらに理解が進む感じがした。 ・弁当はボリュームがありおいしかった。		

令和元年度 上越市美術展覧会事業評価

(事業評価:必須事業)

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	出品者数/点数・入 場者数	社会教育委員による事業評価						評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容		
						開催時期、会期、会場は 適当であるか		発表の場となり、鑑賞する機会 となっているか。		会期中の雰囲気や来場者の様子はどうか(開 場式や表彰式の雰囲気鑑賞者の様子や会話 など)				展覧会全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント			評価	コメント
		10月6日(日) 9:30~18:00	*高田公園オー レンブラザ	開場式・表彰式 ほか	出品者数293人(出 品点数351) 入場者数3,675人	○	・時期は適切と思う。	◎	・6日初日。雨の中を開場式出席者以外も多数来場された。一般展示作品と同じスペースに無鑑賞の作品もあり、オープンな形が良かった。	○	・スタート行事として、例年になく社教委員の出席が多かった。また、被表彰者の人たちと鑑賞者との和やかな交流も散見された。		・表彰式に運営委員長が欠席で代読だったことが少々残念だった。 ・応募作品の小形化、10代などの若年層の応募増が課題。 ・小中学生の小品や写真などは高校の部活動等からの出品はどうかなどの指摘があった。 ・応募底辺の拡大や全体のレベルアップなどの取組への問いかけは実施者としての行政の責務ではないが、地域事業活性化という視点からは一工夫あってもよいのではと思った。		
						○	・昨年も感じたが、会場が2つに分かれているのは残念。	◎	・多くの市民が注目し、出展できる良い機会だと思う。 ・会場も適切であると思う。	◎	・表彰式は予定通りに実施され進行もスムーズであった。		・写真会場に行くことは出来なかったが、写真展示がない分、通路が広く展示スペースも余裕があったと思う。ただ、照明はホールの照明で良かったのか分からない。もう少し鮮明に見えるようスポットライト等の工夫があっても良いと思った。 ・一般の美術展では、順路が表示してある。オープニングの日だったのでなかったのかもしれないが、団体等の入場があった場合は必要だと思う。 ・彫刻等立体物の展示については、もう少し周りにスペースがあるといいと思った。別の部屋で展示してもいいかと思う。 ・作品については、講評にもあったが力の差が大きいと思った。市として質の向上を図るために何か工夫することも大切かと思う。出品作品の一定の水準を保ちながら、質を高めることと出品数の確保を大切に考えなければいけないと思う。		
						◎	・時期もいいと思う。会場もあのスペースでパーティーションで仕切ってあり工夫がされていた。	◎	・中学生や高校生にはその旨、わかるようにしてもらって印象づけられたら良いと思う。	○	—		・初日でもあり、開場前に来場者が多く良かった。非常に多い来場者だったが、大きな声に気がなった。これが通常であるのか分からないが、その辺の配慮があってもいいと思う。注意喚起をお願いしたい。 ・佳作が新人育成の意味があることを会場にうたうといいと思う。例えば(高校生)名前という記入もあればいいと思った。		
						◎	・市民活動に評価と公開を行う意味で良かった。 ・市当局の姿勢が市民に受け入れられるものと思う。	○	・表彰式としては開場時間、入場待ちの観客を待たせる中で適切。	◎	・落ち着いた雰囲気、司会者のアナウンスも歯切れよく進行された。仕方ないことだが会場が若干手狭に思われた。		・受賞者の想いが感じられて良かった。一般鑑賞での来場者もたくさん見守れる(表彰者を祝う)演出もできた。 ・表彰式後、会場を見て回った。鑑賞参加者も多く、良い雰囲気だった。知り合い友人の作品を探す人は作者名と名札表示番号を探しながら見ていたが、初めての人は戸惑っていた。 ・出展者や関係者の作品の想いを聞く機会があり大変良かった。		
		10月9日(水) 10:00~18:00	*ミュゼ雪小町	作品展示	◎	・市民にミュゼを知ってもらうためにもこの会場での開催はいいと思う。	◎	・非常に人が少なかった。(16:00頃)	◎	・近くに寄ったり、遠くに移動したりして楽しんでいる方がいてよかった。 ・自己の作品をお友達に紹介している方もいた。「市民の展覧会」という雰囲気であった。		・私が訪れた当日は、ナイトウォークの日であったが、この市展もこのようなイベントに組みこみにぎわいづくりに貢献する工夫も必要である。 ・このミュゼで行う意義も街の活性化という点でも考えてほしい。 ・会場がオーレンブラザと2か所に分かれてしまうが、縮小してオーレンブラザ1か所という年も行ってみたいと思う。 ・本当にどちらがいいのか(1か所か2か所か)資料になると思う。 ・作品鑑賞会(講師)があるのはすばらしい。 ・県展に比べ会期が短いと思う。			
					○	・会期、開催時間など適当な時間であると思う。 ・会場はできれば1会場だと見やすいのではないか。	○	・いろいろな素材の作品が出ていて知ることができた。 ・知っている方の作品が展示されているとうれしい。 ・発表の場、鑑賞できる機会となっていると思う。	○	・台風が近づいている金曜日ということもあり、来場者はまばらで数を数えることができるくらいの人数だったので孫と一緒にゆったりと鑑賞することができた。		・展示等開催にあたりたくさんの方の苦勞があったと思う。 ・応募することを楽しみにしている方もいると思う。 ・関係者の方の苦勞はいろいろあると感じた。 ・今回初めてシャトルバスがあることを知った。 ・鑑賞しやすいように工夫されていると思った。			
		10月11日(金) 10:00~18:00	*高田公園オー レンブラザ		○	・会期、開催時間など適当な時間であると思う。 ・会場はできれば1会場だと見やすいのではないか。	○	・いろいろな素材の作品が出ていて知ることができた。 ・知っている方の作品が展示されているとうれしい。 ・発表の場、鑑賞できる機会となっていると思う。	○	・台風のせいか天候が悪かったが来場者が多いと思った。 ・写真は暗いものは電気？に反射して自分の顔が映ってしまい見えにくい作品もあった。		・ミュゼ雪小町では、入賞作品が並んで展示されている印象を受けた。 ・展示会場の違いで雰囲気の違いも感じた。(高い場所だったからか、景色も見られたからか、素敵な感じがした。)			
					○	・駐車料金が気になったが、受付の方から声をかけてもらい無料だと知った。	○	・発表の場、鑑賞する機会になっていると思う。 ・オーレンブラザの鑑賞に行きこちらも見えたかった。	○	・土曜日のせいか天候が悪かったが来場者が多いと思った。 ・写真は暗いものは電気？に反射して自分の顔が映ってしまい見えにくい作品もあった。		・ミュゼ雪小町では、入賞作品が並んで展示されている印象を受けた。 ・展示会場の違いで雰囲気の違いも感じた。(高い場所だったからか、景色も見られたからか、素敵な感じがした。)			

令和元年度 上越市美術展覧会事業評価

(事業評価:必須事業)

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	出品者数/点数・入 場者数	社会教育委員による事業評価						評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容		
						開催時期、会期、会場は 適当であるか		発表の場となり、鑑賞する機会 となっているか。		会期中の雰囲気や来場者の様子(開 場式や表彰式の雰囲気鑑賞者の様子や会話 など)				展覧会全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント			コメント	
		10月13日(日) 10:00~18:00	・高田公園オー レンブラザ	作品展示	出品者数293人(出 品点数351) 入場者数3,675人	○	・学生(小中高)が学校で文化祭や学園 祭が行われる秋に行われることは、意 味があると考えます。 ・会場も野球場や陸上競技場など駐車 場が広い場所の近くでの開催は意味が ある。 ・小さな子どもを連れた親子が来場しや すかった。	◎	・パンフレットも見やすかったが、講師の 方が来場者の質問に丁寧に説明してい て、より深く鑑賞できた様子だった。 ・来場者も一生懸命に説明を聞いてい た。	○	・小さな子どもを連れた親子の姿が多 かったように感じられた。 ・年配の方々は多数見受けられたが、 若者(高校生から50代)の来場者があま り見られなかった。	・来場者に小さな子ども連れの親子がいたことは、文化 の振興という点で大変うれしいことである。今後も若 い世代が活躍できる場、活動できる場がたくさんでき るとありがたい。 ・若い学生の姿があまり見られなかったように思える が、今後の上越市の未来を考えると若い人が出品でき るようなカテゴリーを作ってやれば、もっとすそのを広げ ることができると思う。若者が出品しやすいような工 夫が必要である。 ・会場で作品について説明をする講師の先生がいたこと は大変良かった。年配の方のグループが講師の先生に 次から次へと質問され、講師の先生が丁寧に説明して いるところは大変良かった。 ・受付の係の方がとても明るい笑顔で対応されていて大 変すがすがしかった。芸術を鑑賞ということは人を 幸せにするので受付の方々の笑顔もまた芸術の傑作で あると感じた。			
	10月13日(日) 10:00~18:00	・高田公園オー レンブラザ	○			・2会場に分かれての開催だったが希望 としては1会場ですべての展示を鑑賞した い。会場の広さの確保が必要。	◎	・発表の場、鑑賞の機会としては、とても 良いと感じた。毎年、出品する人が限ら れてきていないか気になった。	○	・鑑賞した日は落ち着いた雰囲気の会 場で好印象だった。 ・写真撮影はOKなのか。	・会場を効率的に工夫した展示で楽しめた。 ・展示パネルの角の作品は見る(鑑賞する)時、少し窮 屈な感じがした。 ・駐車が心配だったが、鑑賞に行った時は十分に駐車 スペースがあり、安心した。 ・彫刻、立体造形の出品数が少なく残念。 ・絵を画いて豊かな生活をしている市民が大勢いること に改めて感心し、すごいなあと思った。 ・気持ちがゆったりとした鑑賞になった。				
	10月14日(月) 10:00~18:00	・高田公園オー レンブラザ ・ミュゼ雪小町	○			・昨年より2か所となり以前より、鑑賞者 が楽になったと思う。いつも1か所という 市民の声はあるが、ミュゼで展示するの は必要だと思うのでこの形式がよいと 思った。	○	・市民にとって出品しやすい、作品を見 ると初心者と思われるものもあったが、 それで良いと思う。気軽に発表する機会 とこれからもなっていくほしい。	○	・鑑賞した日は夫婦で鑑賞している方た ちが何組もいた。作品について話してい る姿が印象的だった。秋、芸術を味わえ る身近な市展はよい機会だと感じた。	・昨年度からオーレンブラザでの開催が始まった。今年 は、入口が広く開けられてあってどこでやっているのか とてもわかりやすかった。昨年よりゆったりと作品が飾 ってある板と板の間があつたので、その点も改善されて いたと思った。 ・毎年いろんな反省の元、どこで作品を展示するとより よく展示できるか考えているのだからと感じた。昨年は写 真はオーレンブラザで、今年はミュゼ雪小町だった。何 年か続けていく中でやりやすい、見やすい形が決まっ ていけばよいと思った。				

令和元年度 謙信KIDSプロジェクト事業評価 (事業評価: 選択事業)

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加者数	社会教育委員による事業評価								評価シートから見た課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容		
							目的に対して、活動内容は適切であるか		目的に対して、講師の選定は適切であるか		活動時間は適切であるか		全体の雰囲気、参加者の様子や 取り組み姿勢など				全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)	
							評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント			評価	コメント
うみの講座	海の環境や生物の観察をとおして、海や生き物に興味・関心をもちたい。	7月6日(土) 9:00~11:30	上越市立水族博物館うみがたり	海の生き物を知る(水族博物館の見学)	上越市立水族博物館うみがたり職員	19	◎	・水族館職員の解説があり、普通の見学だけでは分からない点を気付かせてもらえた。	○	・イルカショーの待ち時間が10分程あり休憩することができたが、途中ではトイレ等には行きにくい状況だった。	△	・全体的に急ぎぎみで慌ただしかった。	○	・一般入場者が多く説明に集中しにくい場所や子どもが見られたが、新しい知識にうなずきながら移動していた。	・集合、解散場所を考える必要がある。天候によっては雨や強い太陽で体調を崩しそうな所なので、一般入場者と区別できる一角を確保できるよう検討してほしい。 ・保護者への引き渡しは1人づつ確認しながらの方が良いと思う。 ・1回目で無理に全員がクイズを考えつかなくても良いと思う。展示、生物の他、2回目のバックヤードで問題を見つける子どももいると思う。 ・1年生では少し説明を理解できていない子どもも見られたが、ほぼみんなが以前に見学したことがあったようなので、落ち着いて行動していた。 ・館内はうす暗く名札だけでは子どもが分かりにくい点があるので、帽子とか別の物も考えてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の安全対策、体調管理 ・児童の特性に応じた対応 ・参加児童の地域の偏り ・講座の内容・運営方法 	<p>【今年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1~3年生は、学習段階による差が大きいことから、全学年で同様の課題に取り組むことは難しいことは承知している。その上で、テキストでの学習は、学年や各自の実態に応じて対応した。 <p>【来年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の安全対策については、引き続き丁寧な対応を続けていく。暑さ対策については、夏場の屋外での活動を極力減らしている。 ・学校での活動とは違い、限られた回数での活動となるので、児童の特性を把握し、対応するのは困難であり、また、一学期の小学一年生の発達段階には個人差が大きく、すべての児童にあわせた活動は難しいが、特に個別な対応が必要な児童については事前に保護者等から情報を収集するなど、今後も児童の実態に応じて対応する。 ・現在、当事業は全市を対象として実施しており、活動場所までの送迎は保護者によることを前提としている。周辺部の児童の参加が少ないことも認識している。より広範囲の児童から参加してもらうための工夫を今後も検討を続けたい。 ・講座の中には、天候に左右され、予定していた内容を実施できない場合があるが、今後も、代替となる内容を準備し、受講者の満足度の向上に努めたい。 ・講座内容・運営方法がより良くなるよう、引き続き課内や事業の受託者と検討を行いたい。 	
		9月7日(土) 9:00~11:30		水族博物館の裏側の工夫や知恵を探る(水族博物館の見学)		18	◎	・毎回、活動内容をたより等で明確にして知らせるようにしている様子が伺えた。	○	・当日の天候にもよるが小学低学年には2時間程度でもよいのかなとも思えた。	◎	・講師や指導員の方の工夫や接し方がとても雰囲気や和らげてよかった。	○	・風が強かったり、むしろ暑いことも関係していたこともあり少し疲れている子どももいて参加者に大きな差があったように思えた。	・謙信KIDSの事業には毎回、関心する。自分が頼みがあったら絶対、参加させたいと思いつ定員を超える申込みがある」ことに納得する。(講座によっては定員に満たないところもあるようだが)指導員や講師の努力に感謝。 ・上越市の未来をせおう子どもたちにこの事業は、ぜひとも続けてほしい。			
						18	◎	・普段体験できないバックヤードに入り、職員の方々から個別に説明していただき、子どもたちにとって有意義な企画であった。	○	・9:00~11:00そのあと30分までとめとなり、やや長いなあと思ったが途中、イルカショーもありちょうどいい時間であった。	○	・まず1日の目標を決め、その目標に向かって受講するという意識の薄い子どもも多かったが、概ね良好であった。	○	・職員の説明の最中に「早く次に行きたいと言う子どももあり、聴く→疑問に持つという体勢が整うといいと思う。	・学習し始めて1時間ほどでのイルカショーは単純に楽しめて子ども同士リラックスできていい時間となった。 ・この「うみがたり」は子どもたちにとって上越市の財産で自慢であることを感じたのではないと思う。 ・華やかな楽しい表の裏でのたたくさんの若い方々の力を私自身、嬉しく感じた。子どもたちの中で将来、水族館に勤めたいという子がいて頼もしく感じた。 ・忙しい土曜日に職員から手厚く3名も担当していただき感謝したい。 ・上教大の学生ボランティアも有り難かった。 ・市内の参加者が多く、区の参加者が少ないと思った。例えば、遠くでも参加できるように総合事務所からうみがたりへ送迎するバスがあると参加しやすいと思った。			
しよくの講座	「上越野菜」について学び、収穫体験を行うことにより、食への関心・興味を育てる。	8月10日(土) 8:30~11:30	浦川原区	ナス・ひとくちまわりの収穫体験	上越野菜振興協議会 株式会社エーエフグリーン 新印上越青果株式会社	18	◎	・上越野菜をまず収穫して興味関心を高めることとても良いと考える。	◎	・夏の暑い時期だったが午前中だったので元気に活動できたと思う。	◎	・1回目なので、最初は表情が硬く緊張が見られた。活動が進む中、丁寧な説明や指示があり少しずつ声も出るようになった。	○	・1年生もシートにすぐに目当てや感想をかくことができた。興味、関心が高いと思った。	<ul style="list-style-type: none"> ・この食の講座の事業評価は2年前にも行った。集合場所やシートが改善されていて良かった。 ・特に知らない仲間が集まる1回目の活動なので、体験活動を中心に分かりやすい必要な説明だけにしぼってあり、子どもたちは楽しく活動することができたと感じた。今回の活動が2回目、3回目にもきつとつながると思う。 ・夏の気温の高い時期なので、体調管理は大切だと思った。 ・班を4つに分け、上教大のボランティアを1名つけ4人体制で活動を指導し見守ることができ大変良かったと思う。 ・時間に余裕があり、あるる畑に行き収穫した野菜や上越野菜を探る活動を行った。体験の後だけに子どもたちは一生懸命に野菜を見ていた。来年も時間に余裕があればあるる畑に行っても良いと思う。 			
ゆきの講座	上越市の暮らしと切り離せない「雪」について、雪国の生活や雪を利活用する体験を通して、興味・関心を持たせる。	2月2日(日) 9:30~12:00	浦川原区	フラマツ作り、月影の郷館内の昔の道具見学、棧俵投げ	月影の郷運営委員会	15	○	・雪がなく、雪遊びが全くできない状態だった。代わりに屋内での棧俵(さんばいし)投げになった。準備が充分整っていないで子どもたちを待たせている場面があった。	△	・フラマツ作りをしたのだが、早々にできた子が時間を持て余していた。 ・体育館での棧俵投げはだんだん興味がわいてきて講座終了後に遊んでいる子どももいた。	△	・言われたことをそれぞれがやっているという感じだった。	△	・1年生の女の子と3年生の男の子ではかなりの能力差があり、参加者同士が馴染んで何かをする感じではなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・15名の参加者のうち1名以外が他地域からの参加者だったことは、「月影の郷」を知る意味では良かった。 ・フラマツ作りの前にせつかく農機具の展示物があるのだから3階の展示を見てから製作活動に入ったほうが、小さなキットだけを見て作るより有意義であると思える。 ・学年を混ぜてグループを作ったら話す機会や協力ができ、より良い成果が得られるように思う。 ・フラマツの作り方や棧俵投げのルール等を始める前にきちんと説明した方が良いと思う。特に棧俵投げはルールがはっきりしておらず、不満そうなお子もいた。 ・講座の会場へは保護者の送迎が不可欠だが、近くに待ち時間を有効に使える場所がない。できれば保護者にも有意義な時間を送れる対応があると良いと思う。 ・当日のまとめシート(反省・評価・感想等)の内容を子どもたちに対して、その場で良い悪いを言うのはよくない。主催者側の思う通りの内容を求めるべきではない。 			

令和元年度 謙信KIDSプロジェクト事業評価 (事業評価: 選択事業)

事業名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加者数	社会教育委員による事業評価					評価シートから見た課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容					
							目的に対して、活動内容は適切であるか		目的に対して、講師の選定は適切であるか		活動時間は適切であるか			全体の雰囲気、参加者の様子や 取り組み姿勢など		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)		
							評価	コメント	評価	コメント	評価			コメント	評価	コメント	コメント	
ものづくりの講座	<ul style="list-style-type: none"> ・工作の基本や道具の使い方学ぶ ・日常生活に役立つ道具の使い方や手業(手技)を学び、使えるようになる(カッター、ノコギリ、ヒモ結びなど) ・自然材料に触れ、手業(手技)を活かし、使えるものを作り出す喜びを体感する 	8月31日(土) 9:30~12:00	上越市市民プラザ	「ワラ」「ヒモ」を素材に道具の使い方や手技を学ぶ	NPO法人木と遊ぶ研究所	19	◎	・新潟といえども、そこからできるわらから自分でミニぼうきを作成したことは農家であっても、現在なかなかないこと。田んぼのことから話もあり興味を持って活動できていた。	○	・大学生のボランティア、委託団体からのスタッフもいて子どもたちの活動の補助がしっかりあり、2時間半という時間内でもできていた。	◎	・楽しく興味を持てる話のもっていき方、又、一方でしっかり聞くように注意する点どちらもあって良かった。	◎	・子どもたちが活動している時の眼がきらきらして良かった。 ・鉛筆削りや作るときに難しい面もあったが、このような機会は普段なかなか取れないので貴重だと思う。	◎	・ミニみごぼうきを作る講座に参加した。農家であっても現在、わらのみごの部分でのぼうきを作る機会はあまりないと思う。 ・子どもたちにわかりやすいように田んぼのこと、田植え、稲刈り、稲、わら、みごと順々に説明があり、これから自分がつくるぼうきの材料について、それがどのようにできたものかが理解できたと思う。それから作り始めたことも良かった。 ・連続講座の2回目だったが、毎回、鉛筆削りをするようにしているとのこと。現在の子供たちはカッターやナイフを使うことが少なくなってきたので、家でもやる機会は少ないので、こうゆう場で実際にやってみるという体験も貴重だと思った。 ・スタッフが若い人から年配の人までいて、年齢の幅があるのも良かった。地域で長く活動しているNPOが受けている良さも感じた。	・アンケート調査の方法 ・講座編成	<p>【来年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査については、多くの講座で、最終回の終了前に親子で回答する時間を設けているが、解散場所が屋外の場合など、一部、回答が困難な講座がある。そのような講座については、講座終了後、郵送により提出してもらうなど、方法を検討したい。 ・謙信KIDSプロジェクトについては、「各区にある豊富な地域資源を活用した様々な体験活動への参加を通じて地域を知り、ふるさと上越への愛着を深めることや一体感の醸成を図ること」を目的に平成18年度から実施してきた。また今年度から、「これからのグローバル社会に生きる力を育てること」を視点に、プログラミングの講座を開催している。この間、数度の講座編成の見直しを経て、現在の講座内容、講座数に収めているが、委員各位におかれては、引き続き、今後の青少年を対象とした社会教育の在り方について、ご提案をお願いしたい。
		11月2日(土) 9:00~16:30	上越市地球環境学校	自然の草木を集めて、草木染をする		32	○	・自然の草木に触れ、それをものづくり(染物)につなげるという目的が達成できた。	○	・2コース合同で全日活動だったが、昼食をはさんで子ども同士の交流も深まったので良かった。	◎	・グループで協力して活動できた。大学生ボランティアも苦労して仕上げたときうれしそうなお表情など、やりとげた満足感が様子で見てとれた。	◎	・染めた手ぬぐいを広げたとときの歓声や、木のひも組みを苦労して仕上げたときうれしそうなお表情など、やりとげた満足感が様子で見てとれた。 ・1日活動ということもあり、多少ふざけたり騒がしかったりする子どももいたが、活動中においてはグループで協力するという約束がよく守られていた。 ・保護者へのアンケートは、今回(最終回)の内容を含みずに回収されるため、講座全体への回答になりにくい。回収率の問題はあるが、講座終了後の郵送などによる返信にて回収してほしい。 ・1~3回を通じて、「子どもが保護者に伝える」という行為の大切さ、影響力を強く感じた。興味を持って聞いたり、見たり、感じたりしたことは、必ず家庭で保護者に話をしたりして、親子で共有する時間、話題となっている。毎回の資料や作品がその話題のきっかけとなるので、出来不出来はともかく、愛着をもてるものづくりを続けてほしいと思う。				
プログラミングの講座	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル社会に対応するために必要な基礎的な能力の一つとして、プログラミングを体験する。また、コンピュータの動作はどんな考え方に基づいて作られているか考える機会にする。 ・活動をおとしてプログラミング的思考(課題解決に向けた論理的思考力)を育成する。 	11月30日(土) 9:00~12:00	上越市教育プラザ	基礎コースII プログラミング・ゲームの体験	上越教育大学 上越TechMeetup	19	○	・プログラミングを通して、じっくり考えてみるということを体験できて良かったと思う。 ・目的はかなりの程度、達成できたと感じている。	○	・小学生が集中して活動できる時間としては、3時間は長すぎるように思っていたが、途中に休憩時間を数回、入れるなど工夫が随所に見られた。小学生にはこの長さが限度と考える。	◎	・各級ごとに班長を中心とした自己紹介の時間をとったりして全体の雰囲気が大変よく、参加者の小学生が仲良くやっていると感じた。 ・世話役の社会教育課の役割が大変良かった。	◎	・小学生は大変にイキイキとした感じで、一生懸命に頑張っていた。この表情をみると小学生に人気の高い講座であることが伺えた。 ・上越教育大学の院生さんが、朝早くから来て準備をしてくれていて大変ありがたかった。 ・教室の机の設置を子どもたちが頑張ってやっていた。世話役の社会教育課の指示が適切であり、9時にはきちんと挨拶から講座を始めることができた。 ・ゲーム自慢の時間をとったりし、小学生の心理をよくつかんだ対応だった。講師先生の小学生向きに簡単な言葉を選んで、やさしくゆくりと対応してくれていた。かなり苦労されているものと感心した。 ・上越教育大学でとても楽しいテキストを作成してくれており、プログラミングを楽しく学ぶことが出来た。 ・上級者(出されたテキストを早く終わってしまう子)に対して、より高度なテキストを何種類か準備してくれており、進度の異なる子どもたちへの配慮もされており良かった。 ・講座終了後に講師先生と社会教育課の話を聞くことが出来た。小学生に大変人気の講座であるから講座数を増やしたらよいと考える。また、先々を考えると小学校教員も一緒に参加できるようにした方がいいと考える。				
		12月14日(土) 9:00~12:00		応用コースI プログラミング・ゲームを作ろう		18	◎	・仲間との相談→全員で協力して決めていく作業というプロセスもプログラミングとしては必要であり、よく考えられた講座の進め方だと感じた。	○	・小学生にとっては、3時間はきつからうと考えるが、よく集中して頑張ったように思える。長時間のため集中力がもたない児童もいた。	◎	・小学生と大学院生とのやり取りがフレンドリーで小学生が楽しそうであった。ほぼ全員が話し合いに参加しており、よい雰囲気であったと感じた。	◎	・小学生が楽しそうであったが、大学院生もかなり楽しみながら教えていた。講座の後半で集中力が切れてしまった小学生が見られた。 ・講座開始前の準備の段階から、小学生と大学院生が和気あいあいと一緒に準備をしていた。小学生はバッドに興味深々であり、講座前でのこのような時間が重要であろうと感じた。 ・各級ごとにホワイトボードで作業を進めていたが、小学生にとってはホワイトボードはお絵かき版になってしまい講座内容が少し外れて漫画を描き始める子もいた。 ・会場設営、撤去、挨拶をきちんとさせたりインフルエンザ予防のための手洗いやうがいなど、注意事項をきちんと小学生に指導しており、大変良かったと感じた。社会教育課の指導がきちんとされていた。 ・小学生だけで相談して何かを決めるということは、壁がかなり高いと感じたが、サポートの大学院生のアドバイスが適切であり、スムーズに作業が進められた。 ・これだけ人気の高い講座であるならば、講座数を増やした方がいいものとする。				

令和元年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)事業評価 (事業評価:選択事業)
2年目(高田区、春日区、直江津区、有田区)

地域を知り、地域の課題を把握する講座(地域の活動団体紹介、地域めぐり、地域の課題を把握)

地区名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加者数	社会教育委員による事業評価						評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容					
							目的に対して、活動内容は適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気				参加者の様子、取組む姿勢(受講中の表情など)		全体を通しての感想及び意見(自由記述欄)		
							評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント			評価	コメント	コメント		
高田区	地域の歴史や文化、自然など地域学習を中心に行い、地域の魅力を再発見することで、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 1年目…高田区の歴史を学ぶほか、歴史的建築物や施設等を見学し、地域の現状を知る 2年目…高田区在住の商業者・移住者・町興しに取り組む方から見た高田の魅力を知り、高田のまちの歩みとこれからについて考える。 3年目…参加者での話し合いをもとに、具体的な活動を実践する。	【1回目】 9月5日(木) 9:30~11:30	高田地区公民館	1年目の活動を振り返り、講座の趣旨を考える。	なし	10	◎	・2年目の1回目なので、1年目の振り返りと講座の趣旨説明があり、初めての受講者にもわかってもらえたと思う。	○	・グループワークでのシート配布は参加人数が少ないので全員に配ってもよかったのではないかと。(書く時間もなかったので)	◎	・自己紹介タイムも設けられていたしその中で3つのことが担当者から示されていて分かりやすく和やかであった。	◎	・2班にわかれてのグループワークでは、とても活発な話し合いであった。	・社会教育課の担当職員と公民館職員との連携がスムーズにできていたし、講座担当職員の講座運営のリードも良かった。2人で運営していくのだという気概も感じられた。 ・講座の申込者14人のうち、1年目からの継続者が8割いて今後に期待できるようなが、1回目から4人欠席とは少し残念。(4人のうち2人は連絡なし)受講者の心がけも促したい。	・時間配分の見直し ・参加者の確保 ・開催日時の検討 ・講座の内容	【今年度】 ・時間配分の見直しについて、指摘があった2回目はグループワークの時間が10分程度と少なかったため、3回目では1時間にした。十分な時間を確保したことにより、参加者全員が意見を述べる事ができた。 【来年度】 ・参加者の確保について、参加者募集の段階で講座内容を具体的なものとし、分かりやすく魅力的にPRすることを心がける。また、1、2年目の参加者に継続して参加してもらうよう声掛けを行う。		
		【2回目】 9月26日(木) 9:30~11:30					商業地としての高田の歩みを学ぶ。	大杉屋惣兵衛 宮越 紀禰子さん	13	◎	・3年連続講座の2年目という一部分に参加したが、歴史等高田に住んでいるひとりとしてたくさんの方の意見があった。 ・ふるさとを知るよい活動内容だった。	○	・まだ深く聞きたいと思うような、次の会の期待を持つことのできる時間だった。	○	・人数的にも気軽に質問できたり、自分の思いを伝えたりすることができる雰囲気だったと思う。	◎	・熱心に参加し自分の気持ちを持ち取り組んでいた。	・1回目の取組の様子や今までの内容、今後のもって行き方の講座や課題などが明確に示されており、初めてでも分かりやすく参加できた。 ・高田の歴史等、興味深く聞くことができた。ふるさとがいつまでも元気でいられるよう行動をおこす事が大事だと思った。 ・初めは25人の参加者で今回は14人の参加者だったが10人以上減った理由は何か。	・開催日時の検討について、今年度は開催日を木曜日に固定していたが、木曜日だと別の用事があって参加できないといった断られることが多かったので、木曜日以外での実施を検討する。
		【3回目】 10月17日(木) 9:30~11:30					高田から移住してきた方から話を聞き、外から見た高田について考える。	Re:Works 代表 内田 亮 さん 雁木の宿 町の家-noie- 管理人 町 凌 介さん	7	○	・何回かに分けての1回としては良いと思う。	◎	・休憩時間をとっていたのは良いと思う。 ・気分転換になるとともに、考えをまとめる時間にもなっていてワークショップへの移行に向かいやすく感じた。	○	・淡々とした空気感であった。	○	・受講者がシニア世代だけであったことから、講師の方の世代と開きがあり新鮮な話であると同時に少し他人事のような様子の参加者が見受けられた。	・「商業地としての高田の歩みを学ぶ」講師の宮越さんの体験的歴史観や地域への温かな思いを実感できた。 ・高田の中心地域である本町商店街の歴史現状などを老舗女将という目線でもらえた内容は参加者の好感を得たようだ。 ・印刷された「商業地としての高田の歩み」「お馬出し(エリアのリーフ)」など事前準備の資料などが好感ある設定だった。	・「商業地としての高田の歩みを学ぶ」講師の宮越さんの体験的歴史観や地域への温かな思いを実感できた。 ・高田の中心地域である本町商店街の歴史現状などを老舗女将という目線でもらえた内容は参加者の好感を得たようだ。 ・印刷された「商業地としての高田の歩み」「お馬出し(エリアのリーフ)」など事前準備の資料などが好感ある設定だった。
◎	・創業百年超の老舗の歴史的視点から衰勢に向かう地域への心情も加えた講義は好感あり。参加者も真剣に取り組んでいた。	△	・講話や事後の意見交換などの時間配分に若干検討の余地がある。	△	・初回は25名、今回は会員12名位。熱心な人が中心だったが今後少し心配。	○	・前回の2名リーダーから前回の反省点や問題点の報告があり、スタートしたことは良案である。	◎	・学ぼうという姿勢があり、かつ質問や話し合いも活発であった。	◎	・第1回目のグループワークの内容がまとめられ、全員に配布されていて欠席者にも伝わったと思う。そのうえ3年間の内容やこれからの3年目に向けた提案など素晴らしい資料が配られて、受講者にも方向性がわかり、目的に向かう姿勢(取組み)がはつきりしたのではないかとと思う。	・終了時間が少し伸びるのは、意見が活発になってきたことだが、開始の時間が遅れるのは感心しない。 ・講座の講師が未定となっていたが、決定したら速やかに発表してほしい。(講師によって参加を決めることもあると思うため。)また、講座にもよるが定員に満たない講座には途中参加や1講座のみの参加であっても良いと思うので広報してほしい。 ・「地域を知り課題を把握する」ためには、ほかのいろいろな講座や団体との連携が必要と思うので、他団体との合同の意見交換会を持つてみてはどうか。まちづくりには多方面からの意見が必要。 ・「元気の出るふるさと講座」のほとんどが、平日の午前中に開催されているので、参加者が限られているように思える。地区ごとの開催曜日は次年度は変えて行われるのか。多くの方が参加できるように工夫してほしい。							

令和元年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)事業評価 (事業評価:選択事業)
2年目(高田区、春日区、直江津区、有田区)

地域を知り、地域の課題を把握する講座(地域の活動団体紹介、地域めぐり、地域の課題を把握)

地区名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加者数	社会教育委員による事業評価										評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容
							目的に対して、活動内容は適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など)		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)			
							評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	コメント			
春日区	地域の魅力を再認識し、今後地域活性化に向けた取組について、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 1年目…春日区の歴史や文化、地域団体の取り組み学び、地域の現状を知る。 2年目…春日区の歴史や文化への理解をより深めるとともに、他地区の取り組みを学び、3年目の活動内容について考える。 3年目…参加者での話し合いをもとに、活動(成果物作成も含む)を実践する。	【2回目】 6月24日(月) 9:30~11:30	春日地区公民館	地域の魅力再発見として、春日区の歴史や史跡について学ぶ。	文化行政課 専門学芸員 小島 幸雄さん	18	○	・地域実態から適切と思う。仕方ないと思うが、参加者の広がりや定着、自由に結びつける方向が必要。	○	・地区の歴史を考え、魅力について学ぶ参加者は初心者と専門的な人で、もう少し時間が欲しいと思われる。	◎	・参加者に予備知識のある人が多く、継続されているので雰囲気は良い。講師の話も幅広く楽しい時間。	◎	・とにかく楽しく、明るく元気、質問から話の広がりもあり好感。	・参加者が持論を展開する場もあり良い流れ。広がりや定着、さらに自主活動にできればいい。 ・当面、コーディネーターが必要と思う。	・開催日時の検討 ・参加者の意識づけ ・まとめ役となる参加者の確保 ・活動部屋の選定	【今年度】 ・来年度に向け、地域の活性化を意識しながら取り組むよう、参加者への声掛けを行った。 【来年度】 ・開催日時について、参加者から意見を聴くなどして、適当日時を検討する。 ・参加者の意識づけについて、3年目の参加者募集の際や1回目の講座時に、本事業の目的を改めて強調して周知する。 ・まとめ役となる参加者の確保について、参加者のうちの数名に個別に声を掛けるなどの働きかけを行う。 ・活動部屋について、参加者数と活動内容を考慮しながら、適当な部屋を選定する。	
		【3回目】 7月22日(月) 9:30~11:30	春日山城址	【現地学習】 春日山城跡現地にて、ボランティアガイドの活動について学ぶ。	風間 常樹彦さん 観光ボランティアガイドの皆さん	16	○	・春日地区のシンボルである春日山城を学習することで、ふるさと意識が高まる。上越地域の山城を含めて学習を深めてほしい。	△	・月曜日の午前開催は高齢者には多忙であると思う。午後の開催がよいと思う。	○	—	○	—	・春日山城の観光案内の状態に感じた。 ・現地前の事前学習が必要と思う。			
								◎	・良い登山コースだった。	◎	・ちょうど2時間位のコースで良かった。	◎	・なごやかな雰囲気良かった。	◎	・時々、参加者の中から質問が出たりしてガイドさんが詳しく説明していた。	・当日は、バスで出発する時、雨がばらついてきたので、傘を慌てて持ってきたが、現地について歩きだす頃には雨が止んで傘が杖がわりになった。 ・ベテランのボランティアガイドの方は分かりやすく、説明しながら登っていた。要所ごとに立ち止まり、休憩を取りながら詳しく説明していた。		
								◎	・地域の宝を知る実践活動であり、有効だった。会員の知りたい要望に合致していた。	○	・広い現地を考えると短かったと思えるが、昼をはさむ事を考えれば、限界だったと思う。	○	・ガイドの説明も良く現地を歩く研修に合致していたと思われる。 ・各人に見たい、知りたいに差が出るのは仕方ない。	◎	・積極的に質問したり、意見を交わすなど良い雰囲気だった。 ・暑さが大変だった。	・前回同様、参加者に意欲が感じられた。 ・春日山の評価、当時の状況把握には、様々な説明があり「観光ガイド」の話と研究者の話を比べる場面もあり興味深かった。		
		【4回目】 9月30日(月) 9:30~14:00	板倉区(糸しんの里記念館 他)	【現地学習】 他地区の活動団体の取組について学ぶ	板倉おもてなしの会 古見 誠一さん	19	◎	・テーマには良い機会。参加者の意識づけになったと思う。 ・板倉の活動実績が「元気の出る～」につながってほしい。	○	・個々の会場(施設、ゆかりの地)で興味や思い入れの強い人には時間が短かったと思うが、流れとしては適当だった。	◎	・ガイドさんとの関わりもよく、板倉を改めて考える良い機会。参加者同士で意見の交換もあり参加者の知識が豊富だった。	○	・前向きな姿勢でガイドさんと意見交換をし、見学などの様子が好印象だった。	・この講座も次回が締めとなるが、「地域の活性に向けた旗振りを意識してほしい。」旨の話が事務局よりあり、参加者の意識がどうなるか気になる。 ・参加者が春日地域の人だけではないので、それぞれの地域でどう受け入れるのか、全体の連携が必要。 ・地域の中でこうした人材をいきいきと活動してもらい見直し、機会をどう提供できるか関係者への情報発信もどうすればよいか。 ・板倉として出来ることをやりきったと思うが、その成果を次のステップに向けた取り組みに注目したい。			

令和元年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)事業評価 (事業評価:選択事業)
 2年目(高田区、春日区、直江津区、有田区)

地域を知り、地域の課題を把握する講座(地域の活動団体紹介、地域めぐり、地域の課題を把握)

地区名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加 者数	社会教育委員による事業評価										評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 来年度対応する内容
							目的に対して、活動内容は 適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など)		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)			
							評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	コメント			
		【5回目】 10月28日(月) 9:30~11:30	春日地区公民館	活動を振り返り、今後について考える。	なし	16	△	・グループワークは4~5名程度でなくては、発言が得られない。	○	・集中できる時間がこの時間位であるので適切と思う。	○	・発言する方が一定の方だった。	○	・この講座は3年間として、2年目最後は課題を共有して解決策を3年目として行うことを思っていない方が多かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークは4~5名で1グループ。今回は4グループでもよかった。最初にグループで話せるよう設置してあると良かった。 ・付せんの記述は1つのみで何枚書いてもよく、グループでの発表の時に大洋紙に貼り意見を言い、同じときには同調して上から貼りながら行う、そうすることによりすっきり意見が伝わるのではないと思う。 ・2Gとして時には休憩時にワールドカフェ方式をとり、別グループの意見を把握でき良かったと思う。 ・若い人の参加がなく、高齢者のみであるので、どうしても楽しみの会となっていた。そこからそれぞれの方が地域を考え、何かをしていく必要に駆られ動くまでを考えたときに、ファシリテーターが必要になる。今回はその方がおらず残念だった。 ・参加者が歴史を学ぶことを楽しみにしており、来年度も活動するのであれば「地域の歴史を学ぶ」というキーワードで来年も募集し、自らが楽しみ外部の方々への波及を考えていくといいと思った。 ・最後のまとめが、①イベントの周知、発信はよい。②コンサートになってしまったのが残念だった。 ・小さな部屋で天井も低くグループワークでは、他の声が響き高齢者には聞きにくかったのではないと思う。部屋の規模の再考を望む。 			

令和元年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)事業評価 (事業評価:選択事業)
 3年目(新道区、和田区、三郷区、八千浦区)

地域を知り、地域の課題を把握する講座(地域の活動団体紹介、地域めぐり、地域の課題を把握)

地区名	ねらい	開催日時	開催場所 または集合場所	活動内容	講師	参加 者数	社会教育委員による事業評価										評価シートから見えた課題	今年度対応した内容と 今後対応する内容
							目的に対して、活動内容は適切であるか		受講時間は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など)		全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄)			
							評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	コメント			
三郷区	地域の歴史や文化、自然など地域学習を中心に行い、地域の魅力を再発見することで、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 1年目…三郷区の歴史を学ぶほか、歴史的建築物や施設等を見学し、地域の現状を知る 2年目…三郷区の歴史や地域の取り組みを学ぶとともに、3年目の活動内容について考える。 3年目…これまでに学んだことを踏まえ、「三郷地区今昔マップ」を作成する。	【3回目】 7月31日(水) 9:30～11:30	三郷地区内	【現地学習】 マップに載せる情報を集めるために三郷区内に出掛ける。	三郷地区の歴史・史跡を研究する会 横尾 彰平さん	14	◎	・講座3年目、マップづくりのための活動であることが明確になっており目的意識を高くもって活動できたと思う。	○	・年間スケジュールを考えこの時期になったと思うが、気温が高く熱中症等が心配である。ただ、エアコンの効いたバスの中での説明や水分補給を呼びかけ配慮は万全であった。	◎	・マップづくりという次の活動を意識していたためか、講師の説明外に参加者が説明する場面があって良かったと思う。 ・講師もより多くの情報を引き出そうと声をかけていた。	◎	・参加者は12名。地域を視察するにはちょうどいい人数であった。これまでの活動のつながりが強く、誰とでも話をしながら楽しそうに地域視察を行っていた。	・これまでの活動の積み重ねが感じられる講座であった。一人一人が自分たちの地域の再発見をしようとする気持ちが見られた。次のマップづくりに向けて丁寧にメモする参加者もいた。 ・講師の説明も堅苦しくなく調べた昔のことばかりでなく、最近の出来事に結びつけた話題もあり、楽しく聞くことができた。また、途中で訪れたお寺で急速、住職さんから話を聞くこともでき良かったと思う。 ・今回の最終的な目的は地域のマップづくりをすることによる地域の良さの再発見と発信であると思われる。どのようなマップになるか、そして発信の形は分からないが、デジタル機器(カメラ、PC等)を使い興味関心を高めるなど新しいことも取り入れるとより充実するかもしれないと思った。 ・講座開始時において、担当者が講座の目的や本日の活動について端的に説明してから、活動を始めたことは大変良かったと思う。全員に目的を確認し、見通しを持たせて活動することが一番大切であると思う。 ・暑い日であったが、楽しく講座に参加できて良かったと思う。	・マップの発信方法 ・開催時期について	・マップの発信方法について、近々、三郷区地域協議会(三郷区魅力マップ作成編集委員会)でマップを作成し、地域住民に配布するという動きがある。こうしたことから、本講座のマップは広く地域住民には配布しないこととし、公民館での配架や町内会長への配布のみとした。現在、地域協議会から協力要請を受け、本講座のマップを参考資料として提供したり、会議に参加したりしており、来年度も継続して協力していく予定である。 ・開催時期について、屋外での活動を真夏の暑い時期に当ててしまったことは反省すべき点だった。事業を計画する際は、参加者の安全に配慮して、適切な時期や活動場所を考える必要がある。	